

TAD

TAD-A1000
INTEGRATED AMPLIFIER

OWNER'S MANUAL

安全上のご注意（安全にお使いいただくために必ずお守りください）

- あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。
- 表示内容を見逃して、誤った使い方をしたときに及ぼす危害や損害の程度を、次の表示で区分し説明しています。

警告

「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。

注意

「人が軽傷を負うまたは可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容」です。

- お守りいただく内容の種類を次の絵文字で区分し、説明しています。

 注意（警告を含む）しなければならない内容です。	 必ず行ってください内容です。
 禁止（やってはいけないこと）の内容です。	

警告



異常が発生したときは、すぐに使用をやめる

- 音が出ない、煙が出ている、変なにおいがする、変な音がするときは、電源プラグを抜く
 - 本機を落としたり、内部に水や異物が入ったりしたときは、電源プラグを抜く
- そのままお使いになると、火災・感電の原因となります。電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。



風呂場・シャワー室など水滴のかかる場所では使用しない

火災・感電の原因となります。



本機をぬらさない

火災・感電の原因となります。



本機の上に水などの液体の入った容器を置かない

本機の上に、花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器を置かないでください。本機の上に水などの液体がこぼれたり、液体が中に入ったりすると、火災・感電の原因となります。



本機の上に火のついたローソクなど裸火を置かない

火災の原因となります。



表示された電源電圧（交流 100 V、50 Hz/60 Hz）以外の電圧で使用しない

火災・感電の原因となります。



不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところに置くと、倒れたり落下したりしてけがの原因となります。



通風を妨げない

本機の内部に熱がこもり、火災・感電の原因となります。また、次のような使い方をしないでください。

- あお向け、横倒し、逆さまにする
- 押し入れなど、風通しの悪い狭い場所に設置する
- じゅうたんやふとんの上に置く
- テーブルクロスなどをかける



ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない

感電の原因となります。



電源プラグや電源コードを破損しない

電源プラグや電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。破損して、火災・感電の原因となります。また、電源プラグや電源コードの修理は、販売店にご依頼ください。



電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因となります。また、緩んだコンセントは使用しないでください。



電源プラグにほこりがたまらないよう、定期的に掃除をする

湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因となります。電源プラグを抜いてから、乾いた布で拭いてください。



カバーを外したり、改造したりしない

本機の内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。



雷が鳴り出したら、本機や電源プラグには触れない

感電の原因となります。



小さな部品は幼児の手の届くところに置かない

万一飲み込んだ場合にはただちに医師と相談してください。



注意



油煙、湿気、ほこりの多い場所に置かない

調理台や加湿器などのそばに置くと、油煙・火災・感電の原因となることがあります。



直射日光が当たるところなど、温度が異常に高くなる場所に放置しない

火災・感電の原因となることがあります。



本機を他の機器と接続するときは電源を切る

本機をオーディオ機器、スピーカーなどに接続するときは、それぞれの取扱説明書をよく読み、電源を切ってから接続してください。また、接続するときは指定されたケーブルを使用してください。



本機の上に重いものや、外枠からはみ出るような大きさのものを置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下したりしてけがの原因となることがあります。



本機の上に乗らない

倒れたり、壊れたりしてけがの原因となることがあります。



付属の電源コードは本機の専用部品です

付属の電源コードは、本機のみで使用することを目的とした専用部品です。他の機器では使用できません。本機では、付属の電源コード以外、使用しないでください。他の電源コードを使用した場合、本来の性能が出なかったり、電流量の不足で発熱したりして、火災・感電の原因となることがあります。



長期間お使いにならないときは、電源プラグをコンセントから抜く

通電状態で放置・保管すると、絶縁劣化・漏電などにより、火災・感電の原因となることがあります。



この機器を使用できるのは日本国内のみです、海外ではご使用になれません

愛情点検



長年ご使用のオーディオ機器の点検を！

このような症状は
ありませんか

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
- ・電源コードにさけめやひび割れがある。
- ・電源が入ったり切れたりする。
- ・本体から異常な音、熱、臭いがする。



ご使用
中止

故障や事故防止のため、すぐに
電源を切り、電源プラグをコン
セントから抜き、必ず販売店に
ご相談ください。

本機の使用環境温度範囲は5℃～35℃、使用環境湿度は85%以下(通風孔が妨げられていないこと)です。
風通しの悪い所や湿度が高すぎる場所、直射日光(または人工の強い光)の当たる場所に設置しないでください。

D3-4-2-1-7c_Ja

使用上の注意

本機を末永くご愛用いただくために、次のような場所には設置しないでください



- 直射日光のあたるところ
- 湿気の多いところや風通しの悪いところ
- 極端に暑いところや寒いところ
- 振動のあるところ
- ホコリやタバコの煙の多いところ
- 油煙、蒸気、熱があたる場所（台所など）

本機のお手入れ

本機の清掃は、お手持ちのポリシングクロスで拭き取ってください。汚れがひどい場合は中性洗剤を5～6倍に薄めた水に柔らかい布を浸し、よく絞ったあと、汚れを拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの揮発性の薬品を用いるとパネルの表面が侵されることがありますので使用しないでください。またスプレー式の殺虫剤などを本機の近くでは使用しないでください。化学ぞうきん等をお使いの場合は、化学ぞうきん等に添付の注意事項をよくお読みください。

安全上のご注意(安全にお使いいただくために必ずお守りください)	2
使用上の注意	4
本機のお手入れ	4
はじめに	6
所有する喜びと誇り、聴く喜びと感動のために	6
主な特長	6
お使いになる前に	7
付属品の確認	7
リモコンに電池を入れる	7
各部の名称とはたらき	8
本体前面	8
本体背面	9
リモコン	10
設置と接続	11
設置	11
接続	12
演奏するには	15
電源を入れる前に	15
操作方法	15
設定する	16
入力を切り替える	16
音量を調節する	16
設定を切り替える	16
ALL RESET	16
故障かな？と思ったら	17
仕様	18
保証とアフターサービス	19

所有する喜びと誇り、聴く喜びと感動のために

「TAD」という名称は「Technical Audio Devices」の頭文字から命名されました。

これは、1975年にパイオニア（株）において最高級スピーカー開発プロジェクトの発足時、技術顧問として参画し、当時 USA プロオーディオ界の第 1 人者であった故バート・ロカンシーの「基本に忠実な技術こそ本物の技術であり、技術志向に傾くことなく、常に音質を最重視する技術こそ本物の技術である」という理念に基づく、「綿密な理論検討と正確な実験に裏付けられた工学的アプローチ」の手法を表現したものです。

自らのスピーカー理論を実践するための新境地を見出したバート・ロカンシーと、その思想と哲学を受け継ぐエンジニアたちの、決して妥協を許さぬ技術への探究心が、「TAD」という存在そのもののなのです。

この「TAD」の意思を受け継ぎ、TECHNICAL AUDIO DEVICES LABORATORIES, INC. は設立されました。私達は、当社の持つ最高の技術で皆様へ聴く喜びと感動を提供していきたいと考えています。

主な特長

回路構成やレイアウトにおける対称性を追求

スピーカーの振動板を正確にドライブするためには、ボイスコイルに流れる正負の電流源を完全に一致させる必要があります。本モデルでは、入力から出力まで完全に独立したアンプをバランス接続した BTL 方式を増幅回路に採用。正負電源の対称のみならず、電源トランスの巻線から整流・平滑・安定化回路まで左右独立設計とし、配置や基板のパターン、配線長に至るまで徹底した対称性を追求しました。また、基準となるアースポイントもプリアンプステージとパワーアンプステージを完全に分離し、理想的な正負・左右の対称性を実現しています。

高純度・高効率を深化させた大容量電源トランスを採用

電源部には、大容量トロイダル型電源トランスによるリニアレギュレータ方式の回路を採用。電源トランスの内部巻線を直出しすることで、引き出し線との接点を極力削減し高純度化を追求するとともに、直出し線のターミナル、基板マウントターミナル、締結ビスに非磁性のメッキと純銅を採用し、磁性歪を徹底的に排除しています。また、リング型トロイダルコアの導入により巻線との結合を高め、リーケージと振動を大幅に低減。この電源トランスをパワーアンプステージ用、プリアンプステージ用、コントロール用すべてに採用することで、純度が高く、応答性に優れた強靱な電源供給を可能とし、正確なスピーカー駆動を実現しています。

高純度プリアンプ回路を搭載

「Reference シリーズ」にも採用されている高性能な 1 段増幅電流帰還型アンプを、プリステージのフラットアンプ部に搭載。コンプリアメンタリ性を追求するため、FET デバイス 1 個 1 個の特性を測定し、プラス側とマイナス側の素子をペアリングすることで、回路動作の安定性を高めています。

高精度ボールベアリングを内蔵した高品位なセンターボリュームノブデザイン

高精度ボールベアリングを内蔵したセンターボリュームノブにより、滑らかな操作感を実現。内部構造の対称性を表現したデザインが、「Evolution シリーズ」ならではの高品位で美しい外観を演出します。

振動制御技術

プリアンプステージ、パワーアンプステージ、電源トランス、コントロールの各機能ブロックは、それぞれ分離された内部 4BOX チャンバー構造を採用し、外部からの振動に強く安定したアース電位を確保します。特に電源部は、徹底したシールド構造により機械的・電氣的ノイズを低減し、音の純度をさらに高めています。また、スパイク内蔵型インシュレーターによる 3 点支持構造を採用することで、床からの振動影響を低減した ISO マウントを実現。荷重ポイントを明確化することでアイソレーション性能を強化し、音の情報量、力強さ、空気感を向上しています。さらにアンプ背面部には、「Reference シリーズ」で採用している強固かつ高品位な大型スピーカーターミナルを採用。機械的、電氣的な接続安定性を高め、スピーカーケーブルの能力を最大限に引き出します。

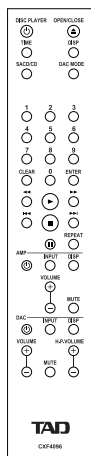
TAD オリジナルパーツを採用

TAD オリジナルのラダー抵抗切替型電子ボリュームにより、超高精度な ATT 特性と低歪率 (0.0005% 以下 / 1 Vrms 入力時) を実現。オーディオ回路のコンデンサおよび抵抗部品には、磁気の悪影響を排除するため、非磁性部品を採用しています。音質上重要なアナログオーディオ信号用抵抗器と低歪の高品位フィルムコンデンサには、Ni 下地メッキのない特殊構造の金メッキ OFC リードを使用し、電流ループを小さくする高品位非磁性電極チップ抵抗も導入するなど、磁性歪を徹底的に排除しています。パワーステージの電源平滑コンデンサには、33,000 μ F x 4 基 の大容量タイプを搭載し、繰り返し試聴と吟味を重ねて開発した、TAD オリジナルのカスタムメイド電解コンデンサを採用しています。

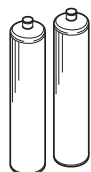
付属品の確認

付属品として、次のものが入っていることを確認してください。

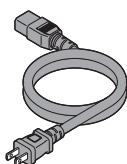
● リモコン× 1



● 単 4 形乾電池× 2



● 電源コード× 1



● 保証書× 1

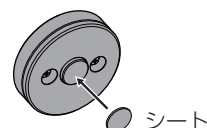
● 取扱説明書（本書）

● シート× 3

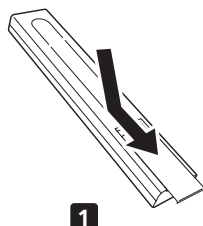
（本シートはインシュレーターによる床などへの傷付け防止用です。必要に応じてお使いください。）



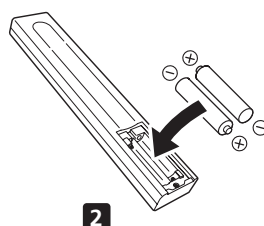
シートの使用例



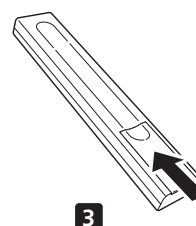
リモコンに電池を入れる



1



2



3

本機に付属している電池は動作確認用で、短期間で寿命になる場合があります。リモコンの操作範囲が極端に狭くなってきたら、電池を交換してください。

警告

- 電池を直射日光の強いところや、炎天下の車内・ストーブの前などの高温の場所で使用・放置しないでください。電池の液漏れ、発熱、破裂、発火の原因になります。また、電池の性能や寿命が低下することがあります。
- 電池を火の中や焼却炉に廃棄しないでください。破裂、発火の原因になります。
- バッテリーを押しつぶしたり、切断しないでください。破裂、発火の原因になります。
- 電池は幼児の手の届くところに置かないでください。万一飲み込んだ場合には、ただちに医師に相談してください。

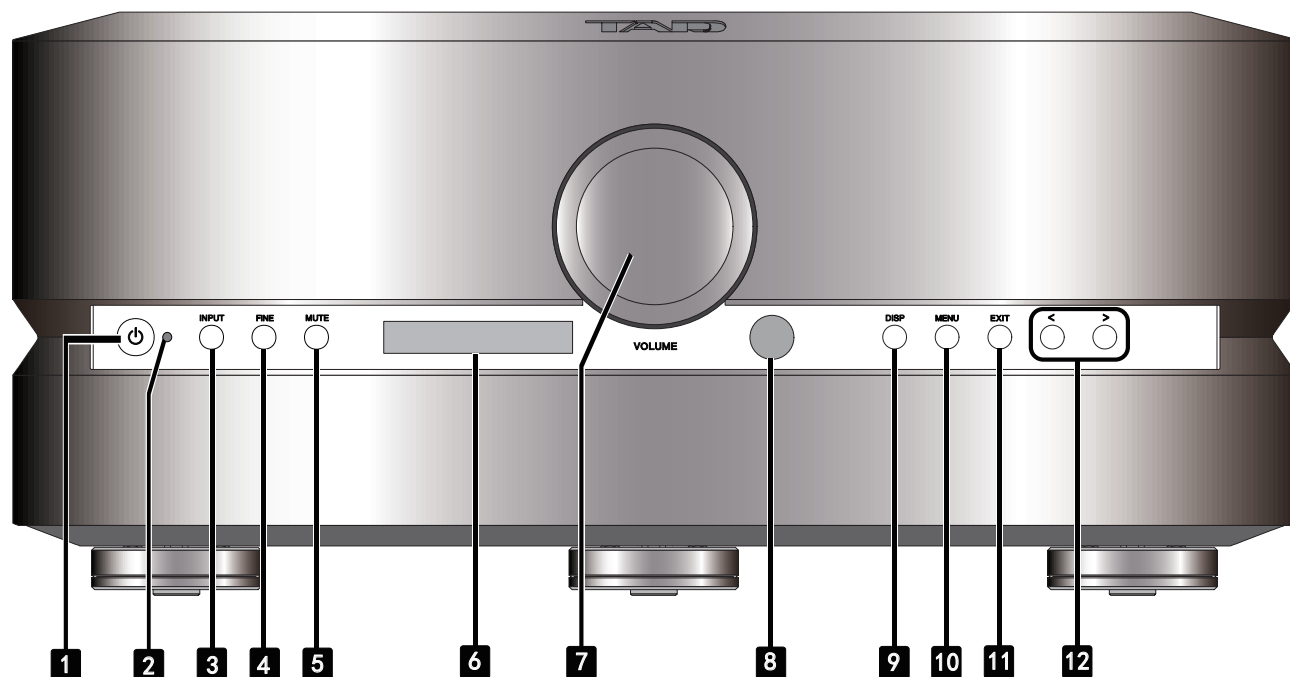
注意

電池を誤って使用すると、液漏れしたり破裂する危険性があります。以下の点について特にご注意ください。

- 新しい電池と古い電池、また、種類の異なる電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池のプラスとマイナスの向きを電池ケースの表示どおりに正しく入れてください。
- 電池は単 4 型マンガン乾電池（R03）または単 4 型アルカリ乾電池（LR03）を使用してください。
- 長い間（1 か月以上）リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐため、乾電池を取り出してください。液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。
- 不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示（条例）に従って処理してください。

各部の名称とはたらき

本体前面



1 電源ボタン

電源（POWER）のオン／スタンバイが切り替わります。

2 電源インジケータ

電源（POWER）の状態が表示されます。

黄色点灯：動作可能状態

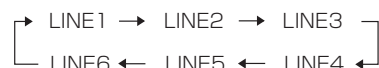
消灯：スタンバイ（電源コード接続時、待機状態）

赤色点滅：異常状態

電源インジケータが黄色の点灯から赤色の点滅に変わった時は、保護回路が働いていますので、電源プラグを抜いてください。詳しくは「保護回路について（15 ページ）」をお読みください。それでも原因が分からないときは、パイオニアカスタマーサポートセンター TAD 相談窓口にご連絡ください。

3 INPUT ボタン

入力を切り替えます。



4 FINE ボタン

音量の調節レベルが 1 または 0.5 ステップに切り替わります。

5 MUTE ボタン

再生中の音楽を消音します。

6 ディスプレイ（表示窓）

本機のさまざまな動作状態を表示します。

7 VOLUME（音量調節つまみ）

本機の音量を調節します。

右に回すと音量を上げ、左に回すと音量を下げます。

8 リモコン受光部

リモコンを約 7 m 以内の距離からここに向けて操作します。

9 DISP ボタン

ボタンを押すと、通常点灯 → 消灯 → 通常点灯の順に、ディスプレイが切り替わります。電源をオンにすると、電源をオフにする前の設定になります。

10 MENU ボタン

設定メニューに切り替わります。ボタンを押すと設定モードが変わります。

11 EXIT ボタン

各種設定を決定するときに押します。

12 </> ボタン

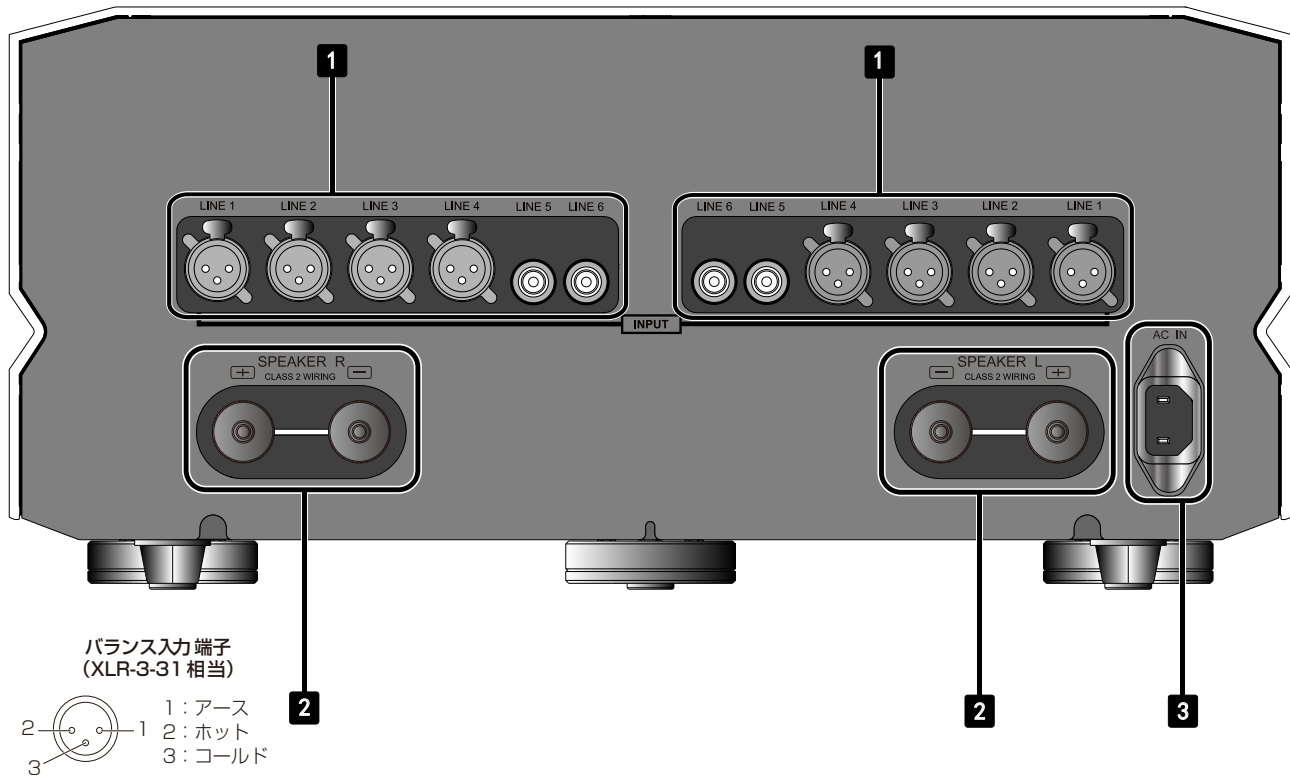
各種設定を選択するときに押します。



注意

電源の供給を完全に停止するためには、電源プラグ（遮断装置）を抜く必要があります。本機を電源コンセント近くに設置し、電源プラグ（遮断装置）に容易に手が届くようにしてください。

本体背面



1 入力端子

接続する機器の端子のタイプにあわせて、バランス (XLR-3-31) またはアンバランス (RCA ピンジャック) を選択できます。

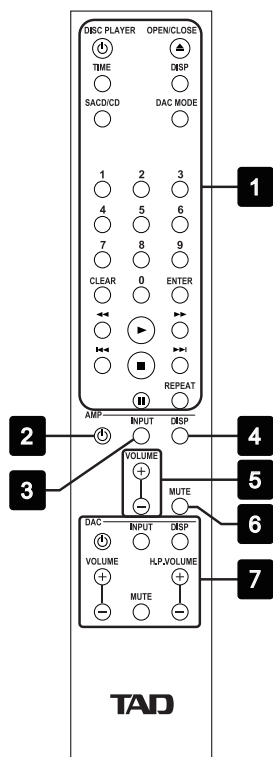
2 SPEAKER 端子

スピーカーインピーダンス $4 \Omega \sim 16 \Omega$ のスピーカーを使用できます。

3 AC IN 端子

付属の電源コードを接続します。

リモコン



1 SACD/CD プレーヤー操作ボタン

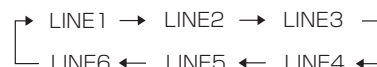
TAD 製 SACD/CD プレーヤーを操作できます。

2 AMP のボタン

本機の電源 (POWER) をオン/スタンバイに切り替えます。

3 INPUT ボタン

入力を切り替えます。



4 DISP ボタン

ディスプレイの点灯/消灯を切り替えます。

5 VOLUME (+ / -) ボタン

＋を押すと音量を上げ、－を押すと音量を下げます。

6 MUTE ボタン

再生中の音楽を消音します。

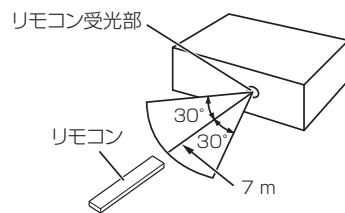
7 D/A コンバーター操作ボタン

TAD 製 D/A コンバーターを操作できます。

リモコンの操作範囲

本機をリモコンで操作するときは、図の範囲内でリモコンを前面のリモコン受光部に向けてください。

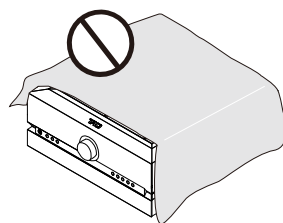
- リモコン受光部との間に障害物があったり、受光部との角度が悪いとリモコン操作ができないことがあります。
- 赤外線を出す機器の近くで本機を使用したり、赤外線を利用した他のリモコン装置を使用したりすると、誤動作することがあります。逆に赤外線によってコントロールされる他の機器を使用時にこのリモコンを操作すると、機器によっては誤動作することがあります。
- リモコンの操作可能範囲が極端に狭くなってきたら電池を交換してください。
- 直射日光や蛍光灯の強い光がリモコン受光部に直接当たると、リモコン操作できないことがあります。そのようなときは、設置場所を変えたり、蛍光灯を離してください。



設置

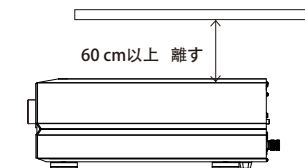
⚠ 警告

- 本機は重量がありますので、持ち運びや開梱、取り付け作業は必ず 2 人以上で行ってください。
- 設置する場所はこの重量に十分耐えられる強度を持つ、安定した水平・平面な場所をお選びください。倒れたりして、事故の原因になります。弊社では、床に設置することをお勧めします。棚などの上に置く場合は、必ず強度の確認を行ってください。
- 放熱のため、本機の上に物を置いたり、布やシートなどをかぶせた状態での使用は絶対におやめください。異常発熱により故障の原因となる場合があります。
- 本機の設置は 3 つのインシュレータでおこなっております。またそのほかに補足的に 2 つの小さな足があります。この補助足は急激な加重がかかった際に、製品が直接床にぶつかることを防ぐ役割をして、通常は床には接していません。



⚠ 注意

本機を設置する場合は、放熱をよくするために、本機の天面から 60 cm 以上、背面から 10 cm 以上、側面から 30 cm 以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり、故障の原因となることがあります。



⚠ 注意

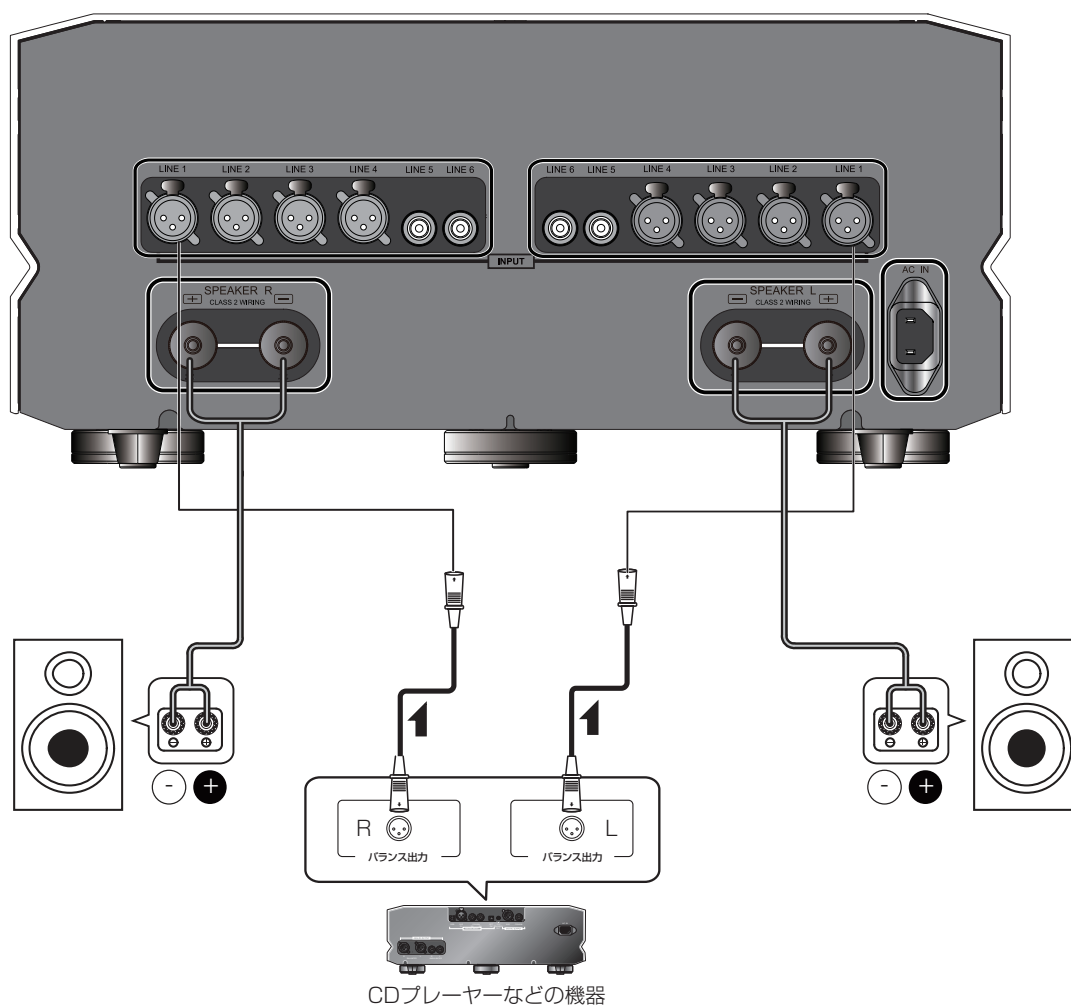
- 本機は発熱量が多いので、じゅうたんやクッションなど、冷却用の空気の流れを妨げる柔らかな物の上に置いたり、狭い場所には置かないでください。
- 本機のインシュレーター内部はラウンドタイプのスパイク構造になっています。インシュレーターの機能を十分に発揮させるため、インシュレーター下部中央の突起部分は固定されておらず、多少動く構造となっています。固定されていない状態が正常で、故障ではございませんのでご注意ください。

接続

⚠ 注意

- 本機の電源は、接続がすべて終わるまで、オンにしないでください。
- 機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードは最後に接続してください。

スピーカーは接続の前に配置しておくことをお勧めします。接続には市販のスピーカーコードをご使用ください。機器の接続を行う場合には、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。



上図は、バランスコードによる接続を示しています。バランス、アンバランスの端子がある機器の場合、どちらか 1 つの方法で接続してください。

LINE 5、6 に接続する場合は、市販の RCA コードをお使いください。

✎ メモ

入力端子とスピーカー端子に接続するケーブル長は 3 m 以下をお勧めします。

スピーカーシステムの接続

⚠ 注意

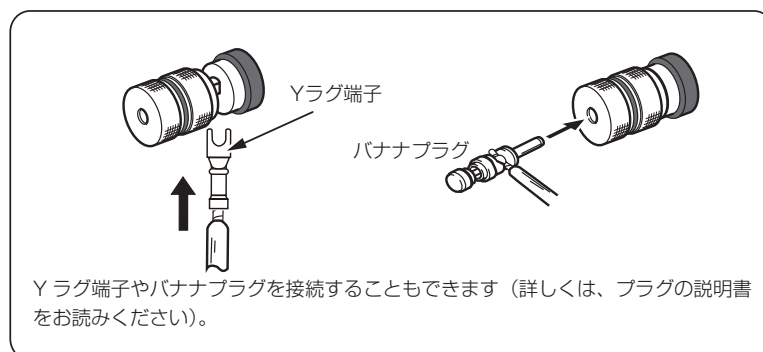
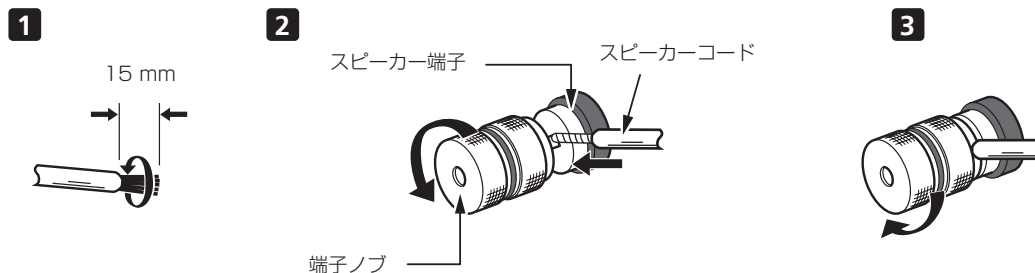
- スピーカー端子には、マイナス端子（－）とプラス端子（＋）の極性があります。接続時には、本機のスピーカー端子とこれらの極性を必ず合わせて接続してください。
- インピーダンスが $4\ \Omega \sim 16\ \Omega$ のスピーカーをご使用ください。
- スピーカーコードは、電流容量の大きなものを使い、緩みやショートのないように確実に接続してください。電流容量の小さな接続コードを使ったり、接続が不完全な場合には、再生音に影響を与えたり、発熱やショートの原因となりますのでご注意ください。
- スピーカーコードを接続するときは、芯線をしっかりねじり、スピーカー端子からはみ出していないことを確認してください。芯線がリアパネルに接触したり、芯線どうしが接触すると、保護回路が働いて電源がオフになることがあります。
- スピーカー端子には非常に高い電圧が出力されます。感電の危険を避けるため、必ず電源コードを抜いてからスピーカーの接続を行ってください。

スピーカーシステムのつなぎかた

スピーカー端子のプラス端子（＋）と本機のスピーカープラス端子（＋）を接続します。
 スピーカー端子のマイナス端子（－）と本機のスピーカーマイナス端子（－）を接続します。

スピーカーコードの接続方法

1. スピーカーコードの外側の被覆を約 15 mm 取り除いてから、中の線をねじり束ねる。
2. スピーカー端子ノブを左側（) に回して、緩める。
端子ノブがスライドし、すきまが開きます。
3. 開いたすきまにスピーカーコードの先端を差し込み、端子ノブを右側（) へ回して締めつける。



電源コードの接続

すべての接続が終了したら、電源コードを家庭用電源コンセント（AC 100 V）に接続します。

本機の電源コードは極性管理されています。音質向上のため、極性を合わせることをお勧めします。下図のように電源プラグのNマークのある側を電源コンセントの幅の広い方（アース側）に合わせて差し込んでください。

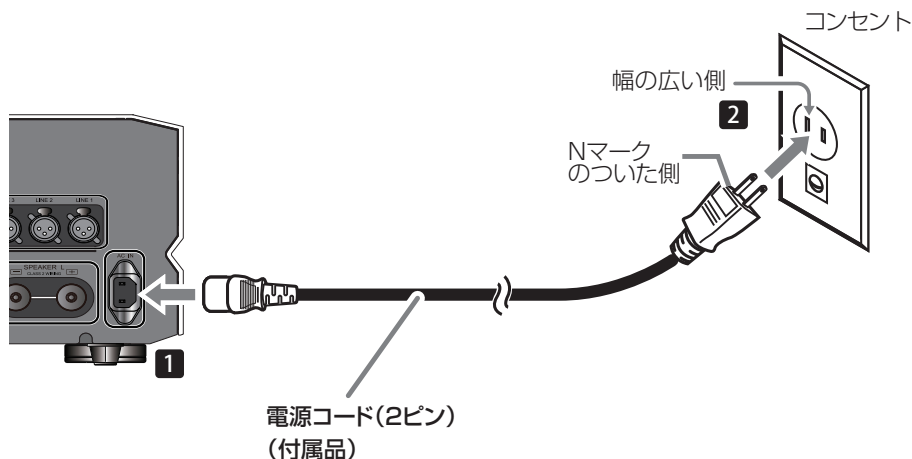


- 本機の電源コードは着脱式になっていますが、付属しているコード（電流容量 15 A、本機側 2P プラグインソケット方式）以外の電源コードはご使用にならないでください。

- 電源スイッチをオンすると本機の電源が入ります。この際、8 秒間のミュートを行いディスプレイが点滅します。ディスプレイが点灯に変わると、本機の演奏準備が完了です。
- 旅行などで長期間本機を使用しない場合は、必ず電源コンセントから電源プラグを抜いておいてください。
- 電源プラグを抜くときは必ず本機の電源スイッチをオフにしてからプラグを抜いてください。

電源コードの接続方法

1. 付属の電源コードを本機の AC IN 端子に接続する。
2. 壁のコンセント (AC 100 V) に接続する。



⚠ 注意

- 本機は消費電力が大きいので、十分な容量のある電源コンセントに接続してください。（容量の小さな電源コンセントに接続すると接続部が発熱する危険性があります。）

電源を入れる前に

入力端子や出力端子が確実に接続されていることを確認してください。

操作方法

1. 本機前面の **電源ボタン**（またはリモコンの **AMP** のボタン）を押して、電源を入れる。
フロントパネルの電源インジケータが黄色に点灯していることを確認してください。
2. **INPUT** ボタン で入力を選びます。
本機の **VOLUME** で、音量を調整します。
3. 演奏を終えるときは、本機の **VOLUME** を最小にし、本機の電源をオフにする。

保護回路について

本機には、アンプやスピーカの損傷を防ぐため、（自動）保護回路が内蔵されています。保護回路が働いている間は、ディスプレイが点滅し、スピーカからは音が出ません。保護回路が働くのは、次の場合となります。

- **電源投入（オン）時**

起動時の雑音を消すため、ミュート回路が働き、8 秒間、ディスプレイが点滅します。

- **異常発生時**

スピーカ端子のショートや過負荷、異常発熱などがあった場合、電源インジケータが赤色に点滅し、保護回路が働きます。保護回路は、リセット型です。異常発生により、保護回路が働いた場合は、電源コンセントから電源プラグを抜き、原因を取り除いてください。



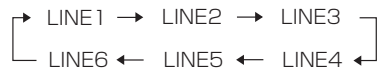
音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所への思いやりを十分にしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉め、お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

設定する

入力を切り替える

INPUT ボタンを押すと、入力が切り替わります。



メモ

- 電源オフ（スタンバイ）から電源をオンにすると、電源オフ（スタンバイ）にする前の入力状態に戻ります。
- 電源プラグを抜き差ししたあと電源を入れると、LINE1（初期値）に戻ります。

音量を調節する

VOLUME（音量調節つまみ）を回すと、音量を調節できます。右に回すと音量が上がり、左に回すと音量が下がります。

FINE ボタンを押すと、次のように音量調節モードが切り替わります。

- **FINE モード**
音量を 0.5 ステップごとに調節します。
- **ノーマルモード**
音量を 1 ステップごとに調節します。

設定を切り替える

MENU ボタンを押すと、本機の設定が切り替わります。MENU ボタンを押す回数により、設定が 1 ～ 3 に切り替わります。

設定は、</> ボタンで選択してから、EXIT ボタンを押して決定します。

1. L-R バランス設定

> ボタンを押すと L チャンネルのレベルが下がり、R チャンネル側に音像が移動します。< ボタンを押すと R チャンネルのレベルが下がり、L チャンネルに音像が移動します。初期値は L/R ともに 0 に設定されています。

2. 入力レベル設定

本機に音量の小さい機器を接続したとき、音量の大きい入力機器との音量差をあわせるため、入力ごとに入力レベルを設定します。
- 10 dB ～ +20 dB まで設定できます。

3. ECO（省エネ）モード

オンに設定されているときは、20 分以上ボリューム調節操作やキー入力操作がないと、自動的にスタンバイに移行します。

> ボタンを押すとオン（ECO ON）に、< ボタンを押すとオフ（ECO OFF）に設定できます。

工場出荷時には、オフ（ECO OFF）に設定されています。

⚠ 注意

- ECO モードをオン（ECO ON）に設定すると、電源の切り忘れによる無駄な電力の消費を防ぐことができます。

ALL RESET

本機のスタンバイ中に MUTE ボタンを押しながら MENU ボタンを押すと、設定が工場出荷状態に戻ります。

工場出荷状態

INPUT : LINE1
VOLUME : 0
L-R バランス : L/R 0
入力レベル : 0 dB
ECO（省エネ）モード : OFF

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら次のことを調べてみてください。意外なミスが故障と思われがちです。また、本機以外が原因の場合も考えられます。ご使用の他の機器および同時に使用している電気機器も、あわせてお調べください。次の項目を調べても症状が直らない場合は、修理をご依頼ください。

症 状	原因と思われること	処 置
電源が入らない。	● 電源プラグが電源コンセントから外れている。 ● 本機の AC INLET から電源コードが外れている。	● 電源コンセントにプラグをしっかりと接続する。 ● AC INLET に電源コードをしっかりと接続する。
入力をあわせても音が出ない。	● 入力端子の接続が正しくない。 ● 消音（ミュート）状態になっており、ディスプレイのボリューム表示位置に "----" が点滅している。 ● 音量が下がっている。	● 接続を再確認する。 ● 本体またはリモコンの MUTE ボタンを押して、消音を解除する。 ● 音量を調整する。
無入力でもノイズが聞こえる。	● 電源そのものにノイズが残っている。	● パソコンなどのデジタル機器とタコ足配線になっていないか確認する。
電源が自動的に切れる。	● ECO（省エネ）モードがオンになっていると、20 分以上本機の操作がない場合に電源が切れる。	● ECO（省エネ）モードをオフにする。（16 ページ）
ディスプレイ表示が見えない。	● 消灯（ディスプレイオフ）になっている。	● DISP ボタンを押して消灯を解除する。
リモコンが操作できない。	● リモコンの電池が消耗している。 ● 距離が離れすぎている。角度が悪い。 ● 途中で信号をさえぎるものがある。 ● 蛍光灯などの強い光がリモコン信号受光部に当たっている。	● 新しい電池に交換する。 ● 7 m 以内、左右 30° 以内で操作する。 ● 障害物を取り除くか、操作する場所を移動する。 ● リモコン受光部に光が直接当たらないようにする。
音が出ない。	● スピーカーコードが端子から外れているか正しく接続されていない。 ● 端子またはスピーカーコードのプラグが汚れている。 ● 電源インジケータが赤色に点滅している。	● スピーカーコードをしっかりと接続する。 ● プラグと端子を清掃する。 ● 「保護回路について（15 ページ）」を参照。

仕様

■本体

定格出力	250 W 1 kHz, 4 Ω
定格歪率	0.05% 以下 1 kHz, 4 Ω , 125 W
S/N 比 (入力ショート、Aネットワーク)	100 dB 以上
周波数特性	10 Hz ~ 50 kHz、 $^{+0}_{-3}$ dB
利得 (Balance)	41.5 dB
入力端子 (感度 / インピーダンス)	260 mV / 100 k Ω (Balance) 130 mV / 50 k Ω (Un Balance)

■電源部・その他

電源電圧	AC 100 V、50 Hz / 60 Hz
消費電力	130 W (待機時消費電力 0.5 W 以下)
外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行)	440 mm × 200 mm × 553 mm (最大外形寸法)
質量	29 kg

■付属品

リモコン	1
単 4 形乾電池	2
電源コード	1
シート	3
保証書	1
取扱説明書 (本書)	

上記の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

「JIS C 61000-3-2 適合品」

JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性—第 3-2 部：限度値—高調波電流発生限度値 (1 相当たりの入力電流が 20 A 以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ店名・お買い上げ日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで、大切に保存してください。

保証期間は購入日から 1 年間です。

補修用性能部品の保有期間

弊社はこの製品の補修用性能部品の、製造打ち切り後 8 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご質問、ご相談

お買い求めの販売店へご相談・ご依頼ください。また、ご転居されたり、ご贈答品などでお買い求めの販売店に修理のご依頼ができない場合は、バイオニア修理受付窓口にご相談ください。

修理を依頼されるとき

修理を依頼される前に取扱説明書の 17 ページの「故障かな？と思ったら」の項目をご確認ください。それでも正常に動作しないときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い求めの販売店へご依頼ください。

連絡していただきたい内容

- ご住所：
- お名前：
- お電話番号：
- 製品名：インテグレートッドアンプ
- 型番：TAD-A1000-K, TAD-A1000-S
- お買い上げ日：
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく具体的に）：
- 訪問ご希望日：
- ご自宅までの道順と目標（建物や公園など付近の目印）：

■ 保証期間中は：

修理に際しては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社の保証規定に基づき修理いたします。

■ 保証期間が過ぎているときは：

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

本製品は家庭用オーディオ機器（オーディオ・ビデオ機器）です。下記の注意事項を守ってご使用ください。

1. 一般家庭用以外での使用（例：店舗などにおけるBGMを目的とした長時間使用、車両・船舶への搭載、屋外での使用など）はしないでください。
2. 音楽信号の再生を目的として設計されていますので、測定器の信号（連続波）などの増幅用には使用しないでください。
3. ハウリングで製品が故障する恐れがありますので、マイクロフォンを接続する場合はマイクロフォンをスピーカーに向けて、音が歪むような大音量では使用しないでください。
4. スピーカーの許容入力を超えるような大音量で再生しないでください。

S026_A1_Ja

〈各窓口へお問い合わせ時のご注意〉

「0120」で始まる電話番号は、携帯電話一部のIP電話などからはご使用になれません。ナビダイヤルは携帯電話などからご利用可能ですが、通話料がかかります。また、一部のIP電話などからはご使用になれません。正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただくことがございますので発信者番号の通知にご協力いただきますようお願いいたします。

商品についてのご相談

TAD商品の取り付け・組み合わせなどについては、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

パイオニアカスタマーサポートセンター TAD相談窓口

受付時間 月曜～金曜 10:00～12:00、13:00～18:00
(土曜・日曜・祝日・パイオニアカスタマーサポートセンター休業日は除く)

【固定電話からのご利用は】 0120-995-823(無料)

※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

修理についてのご相談

修理・故障については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の「故障かな?と思ったら」を一度ご覧になり、故障かどうか確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

インターネットホームページ

本書以外に下記ホームページもご覧ください。

<http://tad-labs.com/jp/support/index.html>

令和7年8月現在 記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

VOL.061



TECHNICAL AUDIO DEVICES LABORATORIES, INC.

© 2025 株式会社 テクニカル オーディオ デバイセズ ラボラトリーズ
禁無断転載

株式会社 テクニカル オーディオ デバイセズ ラボラトリーズ
〒113-0021 東京都文京区本駒込2-28-8 文京グリーンコート
<http://tad-labs.com>